

春來地区公民館だより

令和7年12月20日

春來



1月

第91号

(文責 田中篤幸)



もうすぐ、新年度！！



第21号です。10月12日（日）に開催された、区民ふれあい運動会の様子を紹介します。



曇り空の一日となりましたが、台風の影響でしょうか、温かく過ごしやすい運動会びよりとなりました。お世話をいただいた皆様のおかげだと感謝いたします。

春來小学校卒業生の皆さん来館（11/4）

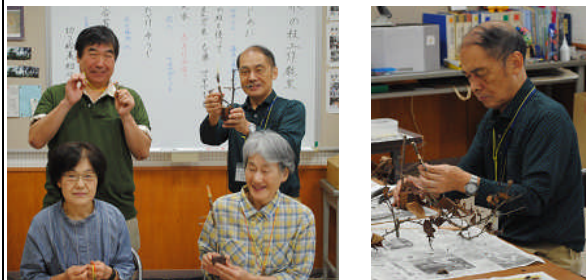


同窓会の後、来館されました。旧校舎と体育館を案内しました。体育館では校歌を合唱されました。

フラワーアレンジメント教室（10/1）



第3回木の枝工作教室（10/4）



令和7年度但馬参与檀信徒研修会

（10/10）

上記の研修会が但馬長寿の郷で開催されました。



展示場運営委員視察研修会（10/14）



かねてからの念願であった、出口龍憲氏の自宅を9名で訪問することができました。中央の方が御

子息の「出口英希（ひでき）」氏です。

企画展、今後の予定など

★今後の予定★

R 7 年

1 2 月～R 8 年 3 月（休館）

R 8 年の予定

4～5 月 短歌作品展（予定）

福井弘子 氏

6～7 月 絵画作品展（予定）

山西周二 氏

8～9 月 切手アート展と「木の枝工作」小学生作品展（予定）

1 0～1 1 月 着物のリメイク展（予定） なっちゃんのリメイクの会

1 2 月～R 9 年 3 月（休館）

R 9 年以降の計画等

※田中初子 氏 絵手紙展（計画中） ※小谷 定 氏 絵画作品展（計画中）

※阪本善行 氏 但馬の先人（計画中） ※福井哲也 氏 鉄道写真展（計画中）

※松崎直樹 氏 子どもの作品展（ポスター、デザイン）（計画中）

「切手アートより」

現在、来年度に向けての作品を製作中です。なにごととも継続が大事なのだなあ実感しています。

なぜなら、作品をつくりながら、制作技術の向上を自分自身で感じているからです。

今、3 点目の作品を作っているところですが、次の作品展では、皆さんには新たな視点で作品を鑑賞して頂けたらと願っています。



春來の自然

「ショウジョウソウ」



前回、9 0 号で紹介した「ジキタリス OR ハナトラノオ」の近くで見つけました。この花は鹿の好物らしく、オレンジの葉の部分は8 月にほとんど食べられてしまいましたが、9 月に負けじと、またオレンジの葉をつけました。

この花は花期に頂部の包葉（ほうよう）が赤く（オレンジ）に色づき、園芸用に栽培されます。世界中の熱帯を中心に帰化植物として分布を広げています。花は小さく目立ちません。

★包は草冠に包と書く漢字もあります。

あっちゃんの夏休み（2 1）「おじいちゃんの雪ぞり」

前号で書きました「雪ぞりにハンドルをつける」で思い出したことを書きます。

祖父が私の幼稚園時代に作ってくれた雪ぞりが壊れてしまったため（壊してしまった）、小学校高学年時代に改造をしようと試みたわけですが、その頑丈な作りと繊細な心配りに感動してしまいました。

約7 年間、かなり乱暴に雪ぞりを扱っていたのですから、壊れるのはやむを得ないと思いつつ全体をみわたしてみると・・・

①おしりをつけ、体重をかける部分はかなり頑丈に補強が施してありました。

②刃の部分は竹を丁寧に削り、炎の熱で曲げた上でなめらかにヤスリがけがしてありました。

③手で持つヒモもすぐに切れてしまわぬように、丈夫なヒモがつけてありました。

私が小学校1 年生の時に、明治生まれの祖父は5 9 才で他界してしまいましたが、私（孫）をととてもかわいがり、いつも優しい笑顔であったと記憶に残っています。

戦争体験で辛かったこと、しんどかったこと。日本に帰り嬉しかったこと。山の猟師をして、猟銃を使い、獲物を仕留めたこと。etc・・・

あっちゃんも大人になり、教職についてからからは、そんな話をじっくりと聞いたかったと強く思うようになりました。

そして、私にも孫が3 人でき、いつのまにかおじいちゃんの年を越えてしまいました。

★雪ぞりの効果・・・体幹と足腰を強くするとともにバランス感覚を養うと言われています。

★「そり」を漢字で書くと・・・「橇」、「雪車」、「雪舟」です。



